

NPO 法人言語発達障害研究会 国リハ式言語発達遅滞訓練プログラム講習会報告

日時: 2024年11月14日(木)～16日(土)

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

2024年11月14日～16日の3日間、国リハ式言語発達遅滞訓練プログラム講習会を開催しました。対面での講習会は6年ぶりの開催です。今回の受講生は52名で、北海道から九州地方まで日本各地からの参加がありました。

受講生の皆さんに、より伝わりやすい内容にするべく、スタッフ一同、講義内容を改めて吟味し、講義をより詳しくまとめた「別冊資料」を作成するなどの準備をしました。



講習会は、各グループにチューターが1名ついた小グループで進めます。受講生は講義だけでなく、大人(ST)役と子ども役になって教具を操作する実習や、評価から訓練プログラムを考えて発表するゼミなどを経験しました。操作実習では、教具の配置や呈示方法などをグループの受講生同士でフォローしあったり、子ども役の熱演に感嘆をしたりと、和やかな雰囲気で進みました。ゼミ形式での実習では、それぞれのグループで活発な意見交換がなされ、休憩時間の間には受講者同士での積極的な交流もみられていました。

アンケートでは、「実際に用具等を使用した演習もあったので、対面でできて理解も深まった」、「対面で、他のSTの方の活動やご意見も聞いて勉強になった」、「疑問に思ったことをすぐにチューターに聞けて勉強になった」といった意見が多くみられ、対面開催の良さを改めて感じる3日間となりました。

以下に参加者の声を載せます。

＜参加者の声＞

- 初めての参加でしたが、対面で生でデモを見ることができて、刺激の入れ方、リワードの出し方などわかりやすかったです。
- 講師のデモを見るだけだと、すぐできそうだと思うことも、いざ自分がやる場面になると、あれ？どうやるんだっけ？と思うこともあります、実際に実習として経験できてよかったです。

- 日々やっていたことが間違っていたこと、また新たな学びや発見もあり、受講してよかったです。もっと年次が浅いときに講習会を受けられていたら、日々の療育がまったく違っていたと思い、もっと早く受けたかったと思いました。
- 症例のVTRを用いて評価および訓練プログラム立案を学ぶことができたので、とてもわかりやすかったです。ふるい分けと選択の区別に混乱していましたが、デモンストレーションによって理解することができました。
- 多くのセラピストの先生と交流する機会があり、評価の視点や引き出しを増やすことができ、充実した研修でした。